

学校だより

令和6年1月9日



1月号

NO. 411

横浜市立茅ヶ崎小学校

学校HP <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/chigasaki/>

学校教育目標 自分らしさを創る たくましい ちがさきっ子

新しい年を迎えました

校長 高橋 美都子

新春の光をうけて、令和6年が始まりました。今年も皆様にとって充実した一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。今年の干支は「甲辰（きのえ たつ）」です。「甲」はまっすぐに立つ大木を表し、第一位や優勢という意味があるそうです。また、「辰」は十二支のなかで唯一架空の生き物で、水や海の神様としてまつられた「龍」を表し、竜巻や雷など自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものです。「龍が現れるとめでたいことが起こる」とも伝えられてきました。この2つの組み合わせである「甲辰」には、成功という芽が成長していき、姿を整えていくという縁起のよさを表しているといわれているそうです。今年も目標へ向かって進んでいけるように、また、子どもたちの豊かな成長を願い、充実した日々が送れるように教職員一同努力してまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、新しい年を迎えて、書き初めをされたご家庭もあるかと思います。子どもたちは、冬休みの課題として取り組んだことでしょう。書写の授業時間は、他の教科と違い、教室の空気がぴんと張り詰めた静ひつなものになったことを思い出します。一人ひとりが自分と向き合い、活動をする時間だからでしょう。書き初めのルーツは平安時代の宮中における「吉書の奏」という行事だそうです。物事が改まった節目に天皇に文書を奏上するというもので、文書の内容は政治がつつがなく進行していますというようなものだったようです。これが江戸時代になると、庶民の間にも「おめでたい新年に書道（習字）をする」という行事となって広がったそうです。年が明けて最初に汲んだ水（若水）を神前に供えた後、それを使って墨をすり、恵方に向かって詩歌を書くというものでした。書の上達を願い、また、心新たに一年間の抱負を決めるというのはいつの時代も変わらないのかもしれませんが。先日、書道がユネスコ無形文化遺産の候補に選定されたというニュースがありました。令和3年に国の登録無形文化財になり、さらにユネスコでも登録されれば、文化の継承や国際交流、観光、教育などの観点に大きな影響がでてくるかもしれません。

これから一年中で一番寒い季節を迎えます。手洗いやうがいの励行、睡眠と休息を十分にとること等予防に努めることが大切になります。また、体調の悪いときには無理をせずに、ゆっくりと休むことも大切です。お子さんの体調管理とともに、皆様もどうぞお身体を大切にお過ごしください。最後になりましたが、令和6年能登半島地震において被害にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈りいたします。